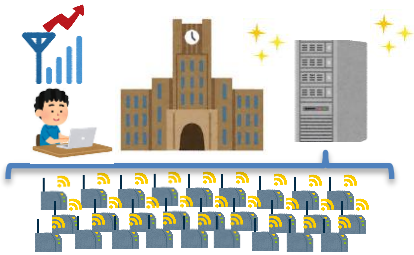


～令和7年度から取り組む主な事業例（紹介）～



名市大無線LANの整備拡充・安定運用



名市大無線 (ncuwifi) の改善・全体最適化により
学生・教員の教育・研究環境の利便性を向上！

学術論文等の即時オープンアクセス



オープンサイエンス・オープンアクセスの推進により
研究成果をより早く広く公開して利活用を促進し
大学の研究力・競争力の強化と成果を社会へ還元！

次期病院情報システムの更新



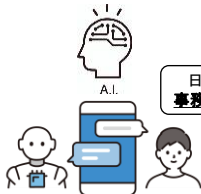
患者さんの利便性向上、職員の働き方改革、ビッグデータ利活用
による研究・医療発展への寄与、病院経営の可視化！

次期基幹系システムの整備



日常的に使用するシステム及びルールを見直し、
事務職員の業務効率化・迅速な意思決定等を実現！

AI活用の推進



AIを活用し、
事務職員の事務業務の生産性・
正確性が向上！

大学DXの全体推進マネジメント



外部専門家からの技術的知見・ノウハウ等を
得ながら、DXのさらなる推進・適正化！

DX人材の育成



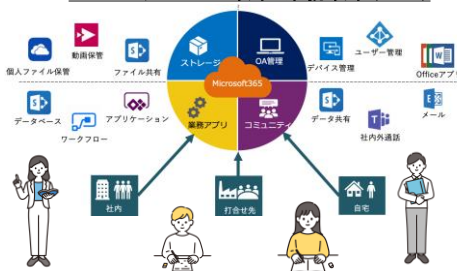
各職場でのDXを担う人材の育成をしながら
職員のDX機運の醸成・創造力を育み、
自発的に職場の改善が可能に！

テレワーク・無線・クラウドストレージの整備



場所に縛られない事務環境を整備し、
より迅速かつ安全な事務対応を実現！

コミュニケーション改革・業務改革(BPR)



全学統一のコミュニケーション基盤を整備し
教職員間の連携強化＋
自ら業務の見直しやアプリの作成等が可能に！